

諏訪小だより

令和7年11月28日
多摩市立諏訪小学校
校長 齋藤 幸之介
12月号

“Imagine”

校長 齋藤幸之介

私共は教育公務員特例法第21条にあるように「その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」とされています。それぞれの立場に応じた必須の研修もありますし、自ら希望して行うものもあります。正直なかなか時間と場の保障は難しいですが、それでも積極的に取り組みたいと思っています。

私は、11月15日(土)に、広島大学附属東雲小学校・中学校の研究会に参加してきました。「たまには飛行機に乗りたい」と思ったのも偽らざるところです。複数の授業実践を参観し、講師の先生の講評を聞きました。これからの教育を考えるきっかけを得、また実践を日々地道に積み重ねる大切さを学びました。

研究会に参加すると、他校の教育環境の特徴を学ぶこともできます。今回、私の中に最も深く刻まれたのは“Imagine”でした。

“Imagine”

広島大学附属東雲小学校の子供たちの昇降口には、大きな世界地図が掲げられていました。ここには、5つの時計が掲げられており、東京とロンドン、ニューデリー、ホノルル、ニューヨークとの時差を捉えることができます。この地図に次のように書かれていました。“Imagine all the people sharing all the world” 私は、あっと思ったと同時に、一つの問いをもちました。「きっとこれはあの曲の一節」、そして「しかし、なぜ“sharing all the world”が用いられているのだろう」。

すでに多くの方が御存知のように、これはジョン・レノンが作詞・作曲をした“Imagine”の一節です。後に詞の一部に奥様のオノ・ヨーコの詩が用いられていることが分かり、共作とされています。今から44年前に発表されたこの曲は今でも広く歌われています。

さて、先程御紹介した“Imagine all the people sharing all the world”を、しかし私は知りませんでした。

調べてみると、“Imagine all the people”は全部で3か所使われています。これに続く表現を私の訳も含めてお伝えすると“Living for today(今を生きている、と)”、“Living life in peace(平和に暮らしている、と)”、そして“Sharing all the world”です。

では、なぜ“Sharing all the world”が用いられたのでしょうか。

“Sharing all the world”に込められた意味

大変申し訳ありませんが、ここから先は私の推察にしか過ぎません。しかし、この学校に通う子供たちも、英語を学びながらこの歌詞に込められた意味を考えるのであれば、私のわがままも許される、と思ったのです。

“Sharing”＝「分ける」、「all the world」＝「世界の全てを」、つまりここは「地球上の全ての人々で全世界を分け合う」といった訳になると思います。この表現はさらに先の歌詞“I hope someday you’ll join us And the world will be as one”「いつの日にか、あなたも私たちの仲間になり、そして世界が一つになることを願っている」につながっていきます。

これを捉えたとき、子供たちは何を感じ、そして世界をどうしたいと考えるのでしょうか。

「人間らしく生きる権利」の難しさ

人間は、誰もが「人間らしく生きる権利で、生まれながらにして持つ権利」(法務省ホームページより)を有するとされ、この考え方は世界に広まっているのは言うまでもありません。

宇野重規さんは、御著書の冒頭で、横原敏之の「どんなときも」の一節「どんなときも どんなときも 僕が僕らしくあるために」を引用されながら、自分らしさが世の中に広がっていることを指摘されています。一方で、宇野さんは、一人ひとりが〈私〉の意識をもち、他人とは違った自分らしさを模索しているなか、そのような〈私〉が集まって、〈私たち〉をつくっていくこと、また、社会を〈私たち〉の力で変えていくことの大切さを述べられています。

日本国憲法第13条にある「公共の福祉に反しない限り」には、互いの人権の矛盾や衝突を調整するという意味が込められているとも言われます。「誰もが」人間らしく生きるためにはどうすべきかを常に問われていることも分かります。一口に「人権」と言いますが、あまりに奥深く、こと私にとってみれば出口の見えづらい権利ではある、と思っていますが、皆様はどのようにお考えでしょうか。

改めて広島大学附属東雲小学校が“Imagine all the people sharing all the world”掲げるその理念と素晴らしさを考えながら、12月4日から10日までの人権週間を全校で過ごしていきたいと思っています。

<参考>

「〈私〉時代のデモクラシー」 宇野重規
岩波新書(2010年)

末筆になって恐縮ですが、すでに御案内の通り、12月6日(土)に学習発表会を行います。子供たちの活躍の様子を御覧いただきたく、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

「遠足」

10月31日(金)に1、2年生合同で多摩動物公園に行きました。運動会が延期になった影響で、運動会と同じ週の実施となりましたが、当日は1、2年生全員が元気に参加することができました。

事前学習で取り組んだ動物クイズを見ながら、「キリンの爪は2本で合ってたよ!」などと、自分たちが立てた予想と見比べて楽しむ姿が見られました。実際の動物を目の前で観察して、たくさんの驚きや気付きや驚きに出会えた1日となりました。

第1学年担任

「4年 社会科見学」

4年生は、11月11日(火)に社会科見学に行きました。今回は、東京タワーや浅草の見学を通して学びを深めました。

社会科見学を通して、浅草の歴史や賑わいを直に感じるとともに、東京タワーの展望スペースからは東京都の市部と区部の様子の違いについて学びました。自分で見て気付いたことをメモする姿も多くあり、事前に学習したことと結び付けながら見学することができました。当日は、保護者の方々にもボランティアとして御協力いただきました。御多用の中、誠にありがとうございました。

第4学年担任

「6年 社会科見学」

11月20日(金)の社会科見学では、国会議事堂に行ってきました。緊張した面持ちで見学している児童もいましたが、日本の政治の中心である国会議事堂に強い関心を示し、「この場所で国のことが決められるんだね」や「ニュースで見たことがあるよ」と、感じたことを口にする姿も見られ、学びを実感する言葉が聞かれました。当日は、保護者の方々にもボランティアとして御協力いただき、各班に一名ずつついていただきました。御多用の中、本当にありがとうございました。

第6学年担任